

年號月日 全 全

(軍醫本部長) 前書之通達無之候也 府(縣)何(郡)區(町)村(戸)長 (戸長)アナル地(區)長

前書之通達無之候也 府(縣)知事(令) 姓 名 印

第二禮書式 軍醫講習生入學證書 陸軍出身者願付此度軍醫講習生自費入學御許可相

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長 何國何郡區(町)村(戸)長

叙任賞勳

○七月十四日 外務大輔從四位勳二等 吉田 清成 任外務書記官 外務省權少書記官正七位 內藤 大助 任農商務大書記官 農商務權大書記官正六位 岩山 敬義 任農商務權少書記官 服部 五十二 〇六月廿二日 步兵中佐正六位勳四等 齋藤 正吉 步兵少佐從六位勳四等 大迫 尚敏 步兵中佐 井戸 順行 步兵少佐 井野 好輔 步兵少佐 飯田 俊助

時事新報

萬國漁業博覽會 本日ノ雜報欄内ニ詳記スル如ク本年五月以來英國倫敦府ニ於テ萬國漁業博覽會ノ催アリ此博覽會ニハ其當國タル英國并ニ其屬邦ヨリ十分ノ出品アリシハ勿論歐米各國支那南洋等ノ國々ヨリモ出品シ又我日本ヨリモ出品シテ其盛大實ニ當用者ヲ満足セシムルニ餘アリト云ヘリ五月十二日該會ノ開幕式ヲ舉行シテ國際圖皇太子ウニ

在ノ演說ヲ爲シタリ 臨場諸員 余ハ女皇ニ代リテ茲ニ萬國漁業博覽會開幕ノ典ヲ奉シ洵ニ欣喜ニ勝ヘズ惟フニ文明各國ノ人口ハ一日ヨリ多キヲ加フニテ食料ノ増減消長ニ關スル萬般ノ事業ハ隨テ大ニ注意ヲ注ガザルベカラズ我英國ノ如キ四面環海ノ邦國ニ於テハ水産ノ要蓋シ陸産ニ讓ラズ今茲ニ開ク所ノ博覽會ハ水産ヲ振興スルニ於テ大ニ効アルベキヲ余ハ諸員ト共ニ冀望スル所ナリ水産ノ業ヲ興ル者本會ニ於テ字内各國ノ新發明等ヲ觀察セバ以テ勞苦ヲ省キ費ヲ減シ而シテ大ニ河海ノ洪利ヲ興スノ道ヲ得ルニ庶幾カラン諸員ノ殊ニ漁人ノ情狀ニ注意シタルハ余カ最喜悅スル所ナリ其ノ救命艇及溺者ヲ拯濟スルノ用ニ供スル諸般ノ器具ノ如キハ本會ノ範圍内ニアルベキハ固ヨリ疑ナク容レザル所ナリ諸員ノ既ニ此ニ見テ演說アリテ本會ニ列シ當ニ漁夫舟丁ノミナラス偏ク文明ノ風潮ヲ逐ヒ海ニ航スル諸ハ向ヒトナリ大利益ヲ與ヘタルハ亦嘉スベシ 余 女皇ニ代リテ本會ノ舉テ贊助セラレタル諸外國政府及諸屬地又ハ各國ノ委員トシテ本會ニ爲シテ特ニ拮据セラレタル諸員ニ向ヒテ特ニ其勞ヲ謝ス 女皇太子ノ演說ノ如ク英國ノ如キ四面環海ノ邦國ニ於テハ水産ノ要蓋シ陸産ニ讓ラザルナリ又此博覽會ハ水産ヲ振興スルニ於テ必ズ大ニ効アルベク漁業者ニシテ此會ニ來リ字内各國ノ新發明等ヲ觀察セバ以テ勞苦ヲ省キ費ヲ減シ大ニ河海ノ洪利ヲ興スノ道ヲ得ルニ疑ナカルベキナリ今我我日本ノ地形ヲ視ルニ單ニ四面環海ニ止マラズ其土壤ノ面積ニ比較シ嶼嶼ノ多キ沿海線ノ長キ實ニ世界無比ノ國柄ニシテ全國島嶼ノ數ハ人ノ住居スルモノ二千内外其沿海線ハ七十里餘ナリ殊ニ其地形ハ暖帶ノ中央ヲ占メテ斜メニ南北ニ流レ温暖ナル琉球諸島ヨリ涼爽ナル千島群島ニ至ルマデ水族ノ蕃育極メテ盛大ナリ此島嶼ノ上ニ生息スル我々日本國民ハ魚肉ヲ以テ人間生々ノ最要品ト爲シ他ノ歐米又ハ支那國民ナランニハ牛羊雞豚ノ肉ヲ食フベキ場合ニ於テモ大抵ハ魚肉ヲ代用シ魚肉ノ用ノ廣キ實ニ他外國人等ノ想像モ及ハザル所アリ所謂水産ノ要蓋シ陸産ニ讓ラザルモノハ世界万国能ク日本ノ右ニ出ル者ナシト云テ不可ナルベシ此日本國ニシテ万國漁業博覽會ニ參シ大ニ字内各國ノ新發明等ヲ觀察シテ河海ノ利ヲ興スノ道ヲ求ムルハ國ノ大計上ニ於テ必要ナルニナラズ我國古來漁業上ノ知識發明并ニ水産ノ用法等ヲ廣ク各國ノ人民ニ指示スルハ亦是日本ノ名譽ヲ世界ニ博スルノ一大手段ニシテ其効用決シテ狹小ナラザルベシ 然ルニ今我輩ハ倫敦ニ開設シタル此万国漁業博覽會ノ景況ノ開テ遺傳ニ堪ニザルモノアリ日本政府ノ保護獎勵ノ薄キ故ヲ將テ日本人民ノ無識無力ナル故カ此大切ナル博覽會場ニ於テ万国人民ノ目前ニ於テ世界第一ノ漁業國タル我日本國ガ大ニ不覺ヲ取リタルノ一事是テ該會ノ景況ヲ觀スル者ノ言ニ曰ク此會ノ出品者中第一ニ位スルハ英國タルト何人モ豫期スル所ニシテ驚ク足ラズ之ニ次

者ハ米國ニシテ其出品ノ夥多ナル英國ヲ除キ全歐洲ヨリノ出品總額ト相頡頏セリ第三等ハ和蘭第四等ハ支那ナリ然レモ日本ノ如キハ文明ニ長足ノ進歩ヲ爲シタリト兼テ評判ノ高キニモ拘ラズ其出品ノ室々タル隣區布哇島ノ出品ト比較シテ其優劣ヲ見サレ程ナレバ入場諸員ノ失望實ニ甚ダシ日本人民ハ文明開化ノ旅行ニ倦ミタルカ決シテ然ラザルベシ何ソ米國并ニ歐洲各國ノ例ニ倣ヒ十分ニ此博覽會ヲ利用スルコトヲ爲サザルベシ此旨實ニ然リ日本ハ世界第一ノ漁業國ナリ既ニ支那ノ下風ニ立ツ尙キ且我々ノ甘モザル所況ヤ彈丸黒子ノ布哇島ト伍チ爲シ笑チ天下ニ遺スオヤ決シテ我國民ノ本志ニアラザルナリ我日本政府ハ本年三月一日ヲ以テ全國ノ水産博覽會ヲ東京上野公園ニ開設シテ大ニ漁業ヲ振起シ謀リタリ其開場ノ日農商務卿ノ代理トシテ品川農商務大輔ノ演說ニ曰ク夫レ水産ニ產ノ饒カナル所トシテ產出セザルナリ而シテ之ヲ利用スルノ多寡ハ人爲ノ巧拙ニ在リ而シテ其昌隆ヲ謀リ國ノ富源ヲ開カント欲セバ則チ之ニテ一場ニ蒐集シテ互ニ其利害得失ヲ較査スルニ如カズ我々内國漁業博覽會ノ舉アリ爾來陸生ニ保ル農工産ノ共進會等皆各地ニ蜂起シ其改良進歩ニ著ルベキ機益ヲ與ヘレトシテ水産ニ然レ共國ノ富源ニ豈特リ陸産ニ止マラズヤ願フニ水産ニ亦之ニ讓ラズ官護ラザルモノニナラズ能ク其事業ヲ擴張シ其方法ヲ完全スルヲ得ルハ或ハ之ニ超越スルコトアルモ未タ以テ知ルベカラズ是レ本會ヲ開設スル所以ナリ 抑モ本邦ノ地勢タル周圍海ヲ環フシ八十五國中其海ニ瀕セザルモノ僅ニ十四國而シテ巨湖大河ノ屈指スベキモノ過半ハ此十四國內ニ在リ例ヘハ琵琶湖ノ近江ニ放ル猪苗代ノ岩代ニ於ル木曾信濃ノ兩川ハ其流レテ信濃ニ發シ利根川ハ其源ヲ上野ニ起ス類ノ如シ是ヲ以テ魚介鹽藻ノ利幾シト全國ニ偏シテ云フヘシ然レ而シテ其現況ヲ通覽スレバ舊法ノ因襲スル處頗多ニ觀ル所其中在々見ルベキモノ無キニ非ラザル共ニ其弊ヲ之ヲ評スルハ本邦水産ノ事業ハ未タ幼稚ノ狀態ヲ脱カレズ此際各々協同一致以テ大ニ謀業ノ振起シ謀ラズニハアルベカラズ 今本會列品ノ數ヲ算スルニ凡一万五千餘種其多キ者カニ慮恐ノ外ニ出テ是レ人心ノ嚮スル所ナリ且ニ足レハ實ニ國家ノ爲ニ祝セサルヲ得ス云々 魚介鹽藻ノ利日本全國ニ偏シテ事、國ノ富源トシテ水産ハ陸産ニ讓ラザルノミナラズ或ハコレニ類スルモノ知ルベカラザル事、現時ノ水産事業ニ満足セシメテ大ニ此業ノ振起シ謀ラズンハアルベカラザル事、此業ノ昌隆ヲ謀リ國ノ富源ヲ開カント欲セバ博覽會等ノ方法ニ由リ一場ニ蒐集シテ互ニ利害得失ヲ較査スルニ如キ事等ハ實ニ皆品川君ノ說ノ如シ而シテ万国博覽會ノ有益ノ大ナル内國博覽會ノ企及フベカラザルモノ甚ダ多キハ論ヲ俟タルガ故ニ我政府ガ本年ノ万国漁業博覽會ヲ開クセリト熱心ニテ分限厚カリシハ國ヨリ優遇ノ禮ヲ受ル所ナリ又我國民ニ於テ本年ノ内國漁業博覽會ニ

雑報

親ヒテ多ノ出品ヲ爲シ實ニ當局者ノ理想ニ出テ
タル程ナレバ全國人心ノ嚮スル所亦十分ニ明知ス
ベシ今ニ觀テ此人民ニシテ萬國博覽會ニ出品スル

○英國女皇の肖像 此種英國女皇陛下より我
陛下へ贈り進らせたる同帝の御給の御年三十餘歳の
肖像にして最と稱するの裝飾あるものありと

○品川大輔 品川農商務大輔の本月十三日函館へ着
したる旨電報ありたる由

○九鬼少輔 九鬼少輔は本月十三日學事巡視の
由

○山田内務卿の長與三等出仕
石井大藏官古澤少書記官増田少書記官を隨へ芳
川東京府知事綿貫警視副總監三國憲兵本部長と共に
東京集治管内を巡視しりと

○品川大輔 品川農商務大輔の本月十三日函館へ着
したる旨電報ありたる由

○九鬼少輔 九鬼少輔は本月十三日學事巡視の
由

○山田内務卿の長與三等出仕
石井大藏官古澤少書記官増田少書記官を隨へ芳
川東京府知事綿貫警視副總監三國憲兵本部長と共に
東京集治管内を巡視しりと

○品川大輔 品川農商務大輔の本月十三日函館へ着
したる旨電報ありたる由

會計局長長兼同廣務局長會計一審副監菅吉澤直行
軍醫本部長長兼監詰方惟理の二君の西部總監軍
部長員を命せられたる由

○米國公使館在籍 本月十四日外務書記官に任せら
れたる内藤次郎氏は米國華盛頓公使館在籍を命ぜ
られ年俸英貨六百五十磅下賜せらるるに命ありたりと

○祝宴 此程清國より歸朝せし外務書記官田邊太一
君の一日昨日同省書記官方及び親族の人々を築地精
養軒へ招きて歸朝の祝宴を開きりと

○高等法院 高等法院公判の念明後十九日より開庭
あるよしよて昨日被告辯護人等へ召喚状を發せりと
又同庭の大審院大洲第四號にて傍聽人は八百名
を限りたりといふ

○東京征討軍 先月上旬佛國の報より東京征討の軍
は陸續出發を爲す大佐ビシヨの指揮する在東京海
軍歩兵隊の總員は貳千五百五十五名にして十六小隊
を合せり内七小隊は交趾より派出したる者あり而し
て費南人を以て組成したる撤兵の中佐ミラモンの指
揮する所あり又軍糧シヤトルノ一號は東京行の命
令を受けたり

○米國々庫現在金 米國政府へ去る六月一日國庫現
在金を表を頒布したり乃之を按するに金銀貨金庫地金
及銅貨の外若干の兌換手形あり其正貨及地金の額は
左の如し

金貨一三六、一三四、一六弗〇小銀貨二八、三〇
三、一九六弗〇金地金五七、一七五、九二七弗〇銀
地金四、一五七、二一八弗〇本位弗一〇八、八九八、
九七七弗〇銅貨五五七、三二五弗〇
正貨合計額 三三三、三三六、九九九弗〇
他の資産 八、九〇〇、〇〇〇弗〇
總計 四四二、二四六、九九九弗〇

右の正貨の悉皆政府に屬するに非らず其中兌換手形
を使用する人民に所有に係るものあり

○清輝艦 同艦は本月十一日鳥羽港を抜錨し翌十二
日兵庫港へ着したる旨電報ありたりと

○風翔艦 淺間艦の附屬ある風翔艦の本艦の士官兼
組にて明十八日横濱抜錨長崎港及び鹿児島灣へ航行
するよし

○兵營増築 大坂鎮台よりの今般兵員増加に付更ふ
城東玉造村の内杉山邊へ兵營一棟を増築せしよし
て既お着手ありたり又舊城内同鎮台本部も急改築の
等よて今度以紀州和歌山舊城内にある建物と其修繕
すべき積りにて去る十二日掛首の檢分も相濟小日若
手あるよしと聞く

○金石採集 東京大學地質學部教授堀田加藤
介氏の本月十日金石採集のため長崎佐賀福岡熊本
四縣へ出張を命せられたり

○海員試驗 昨日農商務省管船局に於て海員技術の
試驗ありしに宮城縣平民奥田彦四郎氏は乙種二等運
轉手よ及第したり

○大坂中學校 文部省直轄大坂中學校よりの去る十
日英語科生徒へ卒業證書授與式を執行したり同日臨
校の人々より山地陸軍少將、美木同大佐、牧野工廠提
理、遠藤造幣局長、建野同府知事を始め當時在阪中の
諸官吏等おして授與式相濟の後同校長折田彦市同敷
田村和太郎の兩君が演説及國語の音楽を奏せりと

○大坂株式取引所 同取引所よりの此程臨時會を開
け急銀貸定期買戻取引を許可され度旨を其筋へ出
願する事よ決し不日頭取藤部幸右衛門氏が東京の舊
ありといふ

○電線運車發明 學問の進歩と共に新奇の發明ある
よし毎度驚嘆する所あるが頃日學士フレミング、マ
ニヤン氏の荷物並に旅客を運送するに其地より
某地まで一條の鋼線を架設し電氣鐵道の場合の如く
一定の場所を發電機關を据置き不斷電氣を鋼線よ
り推進するの發明をなし之をアレックス・マニヤンと名け
て其新工夫の詳細をマニヤン新聞に發表し
たるが同新聞の其發明を以て實際に實行はる可しと
し頻と之を實驗せんとを推奨しされ既にアレク
マニヤン會社を創立し近日の内に鋼線を敷設し架
設し之を實驗すると云ふ

○鐵道怪我 本月十二日午後六時廿分日本鐵道會社
の瀨關車王子村より上野へ進行の途中谷中本村地内
のありしが誤りて土運車と觸れ小兒が即死し婦人の
重傷を負ひたるに付直に警察官へ引渡せし由同地邊
の新開の事故未だ鐵道に危険を知らざる者も多けれ
は一入父兄の注意ありと云ふ

○煙草營業の景況 客販第六拾三號布告の本年七月
一日よりの實施なるを以て未影響と營業者よ及ぶす
と雖現今瀧川三國中營業者に即賣白五拾四八小賣
七百三拾八人あして其の卸賣者も多し葉煙草を他府
縣に向ひて輸出するの營業者は本年七月以後改正
税則お據るも仲買者となり又は製造人を兼ねるを以
て減員せざるよし小賣者は十中八九は資本乏しく
僅々の葉煙草を買入れ之を製造し或は他の製造煙草
を賣受け自用者よ販賣するものあり七月以後幾分
の減價すしと雖改正税則お據り營業税及印紙税共
諸多の徵稅額を増加するよ至るよしと思惟す所し

○櫻間要三郎公判(去る) 櫻間曰く昨年十二月
以北久寶寺町第一樓
し其日午後九時頃
人等姓名を知らざ
居しお該樓に至れば
人即ち當地お於て
雇われ居たる門野又
委員として來坂せる
故此の時互に無沙
肝煎へ通知を乞ひ
旨を告げたり私其
しきも此處お三名
せし二人の者の預
お會の散じたるを
下お於て小案を開
みより其席の人員は
説を爲さんとせし
付互お打ち合ひし
に向ひ初面會の人
龍可取と云ふと深
見るお仲居町藝妓
として權兵衛種時と
呼び快と唱へたる
と申す踏を爲し
奴隷を生し満坐を
の問謀ありと云ふ
既して門野今西
性質酒癖ある男
あるとありしあり
於私の兩人お對
案内せずと可
るお今如斯と云
あれ誰か心快
り若し余にして性
以て敢するあり
まよ下駄の鼻さ
は後より櫻間々々
て二階に登りま
の咽喉をしめたる
吸機自由を欠き
を以て腰ある短刀
之を抜きしと云
呼をいりたるよし
ひ刃を余よ抜きし
余の君等の心を
しは門野其刃を
是する内當該
其方お伏せられ
然り所お杯盤
行しし三名あり
門野等に示す口
や(被)御覽に

○改正税則第三拾壹條
わらざる者お買渡す
の産地お於て耕作人
て將來幾分敷産出上
櫻間要三郎公判(去る) 櫻間曰く昨年十二月
以北久寶寺町第一樓
し其日午後九時頃
人等姓名を知らざ
居しお該樓に至れば
人即ち當地お於て
雇われ居たる門野又
委員として來坂せる
故此の時互に無沙
肝煎へ通知を乞ひ
旨を告げたり私其
しきも此處お三名
せし二人の者の預
お會の散じたるを
下お於て小案を開
みより其席の人員は
説を爲さんとせし
付互お打ち合ひし
に向ひ初面會の人
龍可取と云ふと深
見るお仲居町藝妓
として權兵衛種時と
呼び快と唱へたる
と申す踏を爲し
奴隷を生し満坐を
の問謀ありと云ふ
既して門野今西
性質酒癖ある男
あるとありしあり
於私の兩人お對
案内せずと可
るお今如斯と云
あれ誰か心快
り若し余にして性
以て敢するあり
まよ下駄の鼻さ
は後より櫻間々々
て二階に登りま
の咽喉をしめたる
吸機自由を欠き
を以て腰ある短刀
之を抜きしと云
呼をいりたるよし
ひ刃を余よ抜きし
余の君等の心を
しは門野其刃を
是する内當該
其方お伏せられ
然り所お杯盤
行しし三名あり
門野等に示す口
や(被)御覽に